

令和 3 年 度

芦別市財政健全化審査意見書

芦別市経営健全化審査意見書

芦 別 市 監 査 委 員

令和3年度芦別市財政・経営健全化審査意見

第1 審査の概要

1 審査の対象

市長から提出された、健全化判断比率、資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類（以下「審査対象書類」という。）を審査の対象とした。

2 審査の期間

令和4年7月26日から同年8月29日まで

3 審査の方法

審査対象書類に記載されている計数が正確に表示されているか、また、適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

第2 審査の結果

1 財政健全化審査の総括

審査対象書類は、関係法令等に準拠して調製され、表示されている計数は正確であり、適正に作成されているものと認められた。

また、次のとおり全ての比率において早期健全化基準を下回っているものの、将来負担比率については、将来負担額が約164億円あることから将来を見据えた財政運営が図られるよう期待する。

（単位：％）

健全化判断比率名	令和3年度	早期健全化基準	令和2年度	早期健全化基準
実質赤字比率	— (△5.00)	14.26	— (△1.77)	14.43
連結実質赤字比率	— (△11.71)	19.26	— (△10.53)	19.43
実質公債費比率	5.3	25.0	5.5	25.0
将来負担比率	76.3	350.0	91.7	350.0

※ 「—」は、実質赤字額又は連結実質赤字額がないことを示している。
なお、（ ）内は算定結果を数値で表示した場合の比率である。

2 経営健全化審査の総括

審査対象書類は、関係法令等に準拠して調製され、表示されている計数は正確であり、適正に作成されているものと認められた。

なお、資金不足比率及び経営健全化基準は次表のとおりである。

(単位：%)

会計名	令和3年度 資金不足比率	経営健全化基準	令和2年度 資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	— (△142.3)	20.0	— (△161.8)	20.0
市立芦別病院 事業会計	2.8		3.0	
下水道事業 特別会計	0.5		— (0.0)	

※ 「—」は、資金不足がないことを示している。

なお、()内は算定結果を数値で表示した場合の比率である。

(1) 水道事業会計

令和3年度水道事業会計決算においては、資金不足を生じていない。

(2) 市立芦別病院事業会計

令和3年度市立芦別病院事業会計決算においては、40,875千円の資金不足を生じており、資金不足比率は2.8%となっている。

今後は、更なる経営健全化に努め適切な事業運営を期待する。

(3) 下水道事業特別会計

令和3年度下水道事業特別会計決算においては、1,345千円の資金不足を生じており、資金不足比率は0.5%となっている。

本会計は本来、収支が均衡し資金不足を発生しないものであるため、今後は内部のチェック体制を構築し、適切な会計事務に留意願いたい。